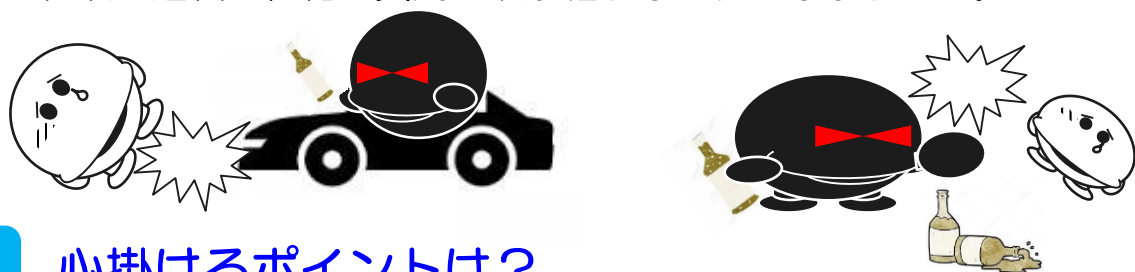


# ⑩ 飲酒関連事故防止は万全ですか

## 1 飲酒運転や暴行は、なぜやってはいけないの？

飲酒に絡む違反行為の多くは、**飲酒運転による人身事故、暴行・傷害等の他人の生命・身体を傷つける行為**です。特に飲酒運転という、単に法令に違反するのみならず、事故により生命又は財産の侵害を生起しうる行為を、国民の生命と財産を守る立場にある防衛省・自衛隊の職員が行うことは断じてあってはならないことであり、国民の信頼を基盤として存在している防衛省・自衛隊としては、隊員一人一人の非行が防衛省・自衛隊全体に対する国民の信頼を著しく失墜させることにもなりかねないことも踏まえ、飲酒運転の根絶に真剣に取り組まなければなりません。



## 2 心掛けるポイントは？

以下の事項が心掛けるポイントになるんだろうね。

- ・ 飲酒運転は絶対にしてはいけないという自衛隊員としての自覚ある行動
- ・ アルコールの運転技能に及ぼす影響を理解し、飲酒運転を防止
- ・ アルコール分解時間の把握  
2～4時間の仮眠はアルコール分解速度を低下させ逆効果
- ・ 記憶や感情のコントロールを失い、規範意識、理性、判断力を弛緩・低下させるような飲み方は、厳に慎むこと



### 運転技能に影響を及ぼす飲酒量の目安

| 運転技能       | 血中濃度  | 飲酒量の目安（ビール換算） |
|------------|-------|---------------|
| 多方面への注意力低下 | 0.02% | 350ML、1本程度    |
| 反応時間遅れ     | 0.02% | 350ML、1本程度    |
| ハンドル操作低下   | 0.03% | 500ML、1本未満    |

【「アルコールの運転技能への影響」（厚生労働省）（<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/alcohol/a-06-006.html>）を加工して作成】

## ⑩ 飲酒関連事故防止は万全ですか

### 3 違反事例

事例1 隊員Aは、同僚と居酒屋で焼酎及びビールをそれぞれ3杯を飲んだ後、いったん帰宅したが、買物に行く必要があることを思い出し、「意識がはっきりしているから運転しても大丈夫だろう。」と自分に言い聞かせ、私有車を運転し、商業施設の駐車場において、部外者の車両に接触させ、全治1週間の傷害を負わせた。【懲戒免職】

事例2 隊員Bが、駐屯地内で開かれた歓迎会で飲酒后、正門付近をミニバイクを運転して来たところ、不審に思った別の隊員に呼び止められ、飲酒運転が発覚した。【停職3か月】

事例3 隊員Cが、同僚と飲酒して帰隊した際、同僚が問いかけに反応しなかったことに腹を立て、顔などを拳で殴って軽傷を負わせた。【停職9日】

この事例においては、以下の事項が問題だよ！

- 飲酒運転
- 飲酒による平常心の欠如から同僚に対して暴行



絶対やっちゃダメ

#### 【その他の違反事例】

- 部隊等において許可された場合以外の飲酒
- 自転車による飲酒運転